

高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成）
タイプB 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

代表校名 (連携大学名)	大分大学
事業名	低侵襲手術とAIのクロスイノベーションによる高度医療人材育成拠点の形成
事業責任者	大分大学医学部長 猪股 雅史
事業の概要	
<p>大分大学は「世界をリードする内視鏡外科手術」を国際社会におけるミッションとして掲げ、同手術の教育プログラムを国内外に展開している。また、医学部消化器・小児外科学講座は、国内大手企業との産学連携により、外科手術のデジタルトランスフォーメーションに関する研究開発を推進しており、その進展は世界から注目されている。本事業では、医療情報・AI・データサイエンスの臨床研究応用を通して、低侵襲手術センターに所属する講座群を皮切りに、高度医療人材の育成と臨床研究の活性化を目指す。具体的な取組として、医療情報（電子カルテ・病理標本）データベースと手術動画（医療画像・内視鏡映像）データベースを整備、臨床研究の効率化を図るとともに、次世代医療人材育成支援センター（METIS）による包括的な教育研究支援を展開する。そして、大学院生への臨床研究スキルの教育実践を起点とする高度医療人材教育の学内サイクルを形成する。</p>	
推進委員会からの主なコメント	
<p>○：優れた点等、●：改善を要する点等</p> <p>○低侵襲手術センターを中心に、低侵襲外科領域における国際レベルの臨床研究実績を有している。</p> <p>○大学院生のRA、TAの増員、データサイエンス研究支援の充実により低侵襲手術に関する臨床研究を強化する計画であり、医学部学生に早期から大学院進学、臨床研究に関するキャリア教育を行い、特徴のある人材育成を計画している。</p> <p>○診療参加型臨床実習、医師の働き方改革についての複数の試みが大学で実施されている。</p> <p>○拠点病院として必要な役割を担っており、METIS構想を中心にバランスが良い。</p> <p>○次世代医療人材育成センターを中心に有機的な運営体制を構築している。</p> <p>○本事業の成果をどのように発展させるかについてのビジョンを有している。</p> <p>●低侵襲手術領域における人材育成についての取組内容が不明確である。</p> <p>●定量的指標の設定をすることが望ましい。</p> <p>●診療参加型臨床実習に対して本事業がどのように貢献するかが不明確である。</p> <p>●地域連携に関する取組が不明確である。</p> <p>●本事業の継続に関する具体的な計画に関する記載が不十分である。</p>	